

# 平成29年度決算

# 有効利用を



これからの勝負

## 29年度に行った主な事業 (万円未満は端数を調整しています。)

・まちづくり複合施設整備事業	7億4688万円	・ヤナ公園整備事業	1億 648万円
・日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備事業	2億8542万円	・除雪委託料	2億5647万円
・こども園支援事業	2億1709万円	・橋梁安全対策事業	5079万円
・園芸大規模団地整備支援事業	2779万円	・鮎貝小学校駐車場整備事業	5354万円

## わが町の財政力

区分・年度	平成29年度	平成28年度	説明
財政力指数	0.283%	0.277%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経営収支比率	89.4%	87.4%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	7.5%	7.6%	収入に対する負債返済の割合。

## 賛成討論

結果重視の  
財政運営を

小口 尚司 議員

自主財源比率が低く、地方交付税や地方債などの依存財源割合が高い脆弱な財政状況が続いている。

今後も有利な財源を確保し厳しい財政を支えていく必要がある。

子育て世代の負担軽減、森林・林業再生に向けた新規事業、需要の多い若者定住サポート事業などは一定の評価をする。

国の政策は「地方創生」への重点化が強まっている。制度の多様化・複雑化に対応し、総合戦略などにより取り組みを充実・強化させ、独自性・独自性による町の活性化に結び付けなければならぬ。より一層効果的かつ効果的で結果重視の財政運営に努めるよう望む。

## 監査意見書

町民福祉の向上に  
一層の努力を

平成29年度の財政状況は、実質収支が6億円を超え、経営収支比率は前年度より2.0ポイント上昇し89.4%となったが硬直化した状況は続いている。財政力指数は0.283と低い改善した。ポイント改善した。今後もこれらの指標の推移を注視しながら健全な財政運営に努めて頂きたい。

町税は個人所得税や固定資産税などの増加で1.3%増加した。滞納繰越分の収納率も向上した。

主な事業は、子育て支援、移住・定住対策、日本の紅をつくる町推進事業、地区コミュニティ事業など実効性のある事業が展開されたことを評価する。厳しい財政状況が予測されるが事務事業の評価と検証を行いながら、より効果的な事業の展開を期待する。

代表監査委員 竹田謙一  
監査委員 山田 仁